

かけはしがわ

発行：国土交通省金沢河川国道事務所



鶴ヶ島町～丸ノ内町間の引堤が完成した梯川

特集 「平成17年の出水を振り返る」
洪水氾濫から地域を守る人たち
河川水辺の国勢調査 平成17年調査結果

奥・丸の内地区でのレガッタ大会



梯川改修事業は重要と評価

平成17年11月10日に「北陸地方整備局事業評価監視委員会」が開催され、梯川直轄河川改修事業の「継続は妥当」との評価を頂きました。「事業評価監視委員会」とは公共事業の効率化及びその実施過程の透明性の一層の向上を図るため第三者である学識経験者等に審議して頂くことを目的として平成11年度から制度化されているものです。

梯川河川改修事業は「再評価実施後一定期間(5年)が経過している事業」として審議を受けたものです。

平成17年の出水を振り返る

平成16年には台風により大きな出水が発生し、小松市に初めて避難勧告が発令され、とても怖い思いを市民のみなさんが経験されたことだと思います。

その後、1年が過ぎ平成17年はどうだったのでしょうか？振り返ってみましょう。



平成16年台風23号ライブカメラ映像

大きな出水はなかったものの去年の2倍の8回の出水が発生

平成17年に指定水位を上回る出水が4月～10月の出水期に8回も発生しました。

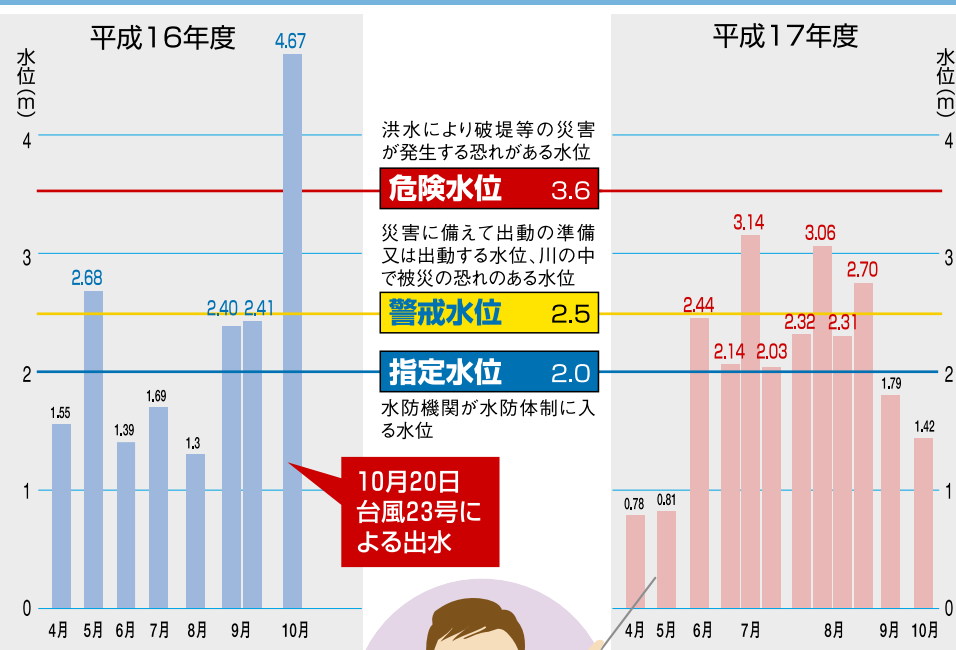
平成16年は10月20日の台風23号による大きな出水が発生しましたが、出水期間中の出水発生回数は4回であり、平成17年の方が出水の規模は大きくなかったものの出水の発生回数が多かったのです。

出水の特徴は、6月～7月は梅雨前線停滞によるもので、8月は夕立による短時間に集中して降る雨により発生したものです。



出水で指定水位を超えた梯川の状況（小松大橋付近）

埴田地点の水位の比較



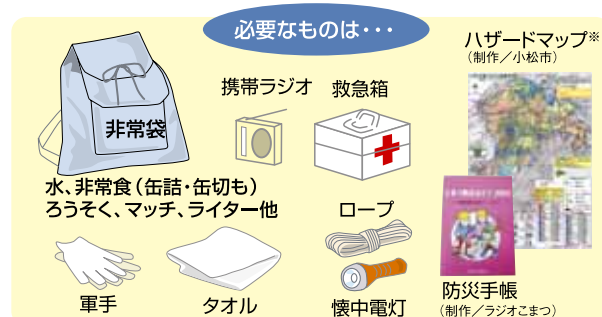
平成17年の方が出水の回数が多かったのです

全国でも各地で大きな出水が発生しています

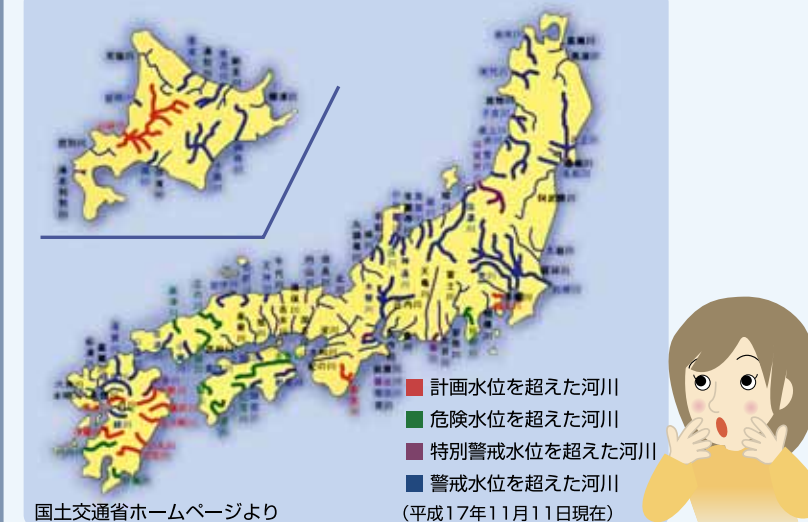
平成17年に発生した前線性の局地的豪雨や台風により、各地で計画を上回る出水が発生しています。

平成16年7月13日に発生した新潟豪雨災害も記憶に新しいところであり、梯川でもいつこのような集中豪雨が発生するかわかりません。

出水に対する備えを常に準備しておきましょう。



全国の国管理河川で計画高水位や危険水位を突破



※ハザードマップとは万が一洪水が発生したときに皆さんが避難する場所を示した地図です。

詳しくは 国土交通省ホームページ/水害レポート <http://www.mlit.go.jp/river/saigai/kiroku/>

私たちは洪水氾濫から地域を守るための仕事をしています。

九竜橋川排水機場及び下牧築堤工事



加越・灰田JV
安全第一・品質第一をモットーに工事を進めていきます。工事状況については、随時住民の皆様にお知らせし、親しみやすい現場作りに努めていきます。工事中は地域の皆さまにご迷惑をお掛けすることもございますが、ご協力をお願いいたします。



下牧及び平面護岸災害復旧工事



株式会社 豊蔵組
水上作業においては、風・水位等の気象条件に注意しながら、作業員の転落事故等が無いように安全第一で行っていきます。陸上工事においては、一般の方々の安全を第一に考え、交通誘導員を配置し事故のない現場を目指します。



古府護岸災害復旧工事



株式会社 向出組
当現場は海水と淡水の合流地点であり、多くの魚・鳥・昆虫が集まってくる場所です。その自然を出来るだけ壊さずに施工しています。仕上げとなるヨシ・柳の植生は古府小学校の生徒さん達に実施していただく予定です。



安宅護岸災害復旧工事

完成



石川建設 株式会社
鋼管打込み時に振動が発生する恐れがあったため、周辺の振動には非常に神経を使いました。現場では4機の振動計を設置し、あらゆる方向の振動を計測しながら工事をおこないました。近隣住民の方々にはご迷惑をお掛けしたかと思われます。ご協力ありがとうございました。



白江護岸災害復旧工事

完成



株式会社 丸西組
出水期の工事だったので、降雨の影響により工事中止や手戻り作業が発生しました。その結果予定より工事の進捗が遅れ、それらを取戻すのに苦労しました。白江大橋直下には飛び石を設置し、魚を間近で見ることができる施設を設けました。親しみやすい場所になっています。



オッチャ樋管撤去受託及び水防用ブロック製作工事



北森建設 株式会社
工事を始める前に説明会を実施させて頂きました。これから、地元の方々に工事内容を理解していただきたいと考えています。また、工事中も安全に進んでいる状況を皆さんに見ていただけるよう見学スペースの設置を考えています。気軽に現場を見に来てください。



なぜ冬に河川工事をするの？

台風や梅雨の季節の6月～9月は出水が多く発生するため、冬期間の年間を通して比較的出水が少ない期間に工事をしています。

かけはしがわに棲む小動物

両生類

爬虫類

哺乳類



両生類・爬虫類・哺乳類の河川水辺の国勢調査結果

■平成17年度調査では、下図に示すような小動物が確認されました。



特定種

天然記念物・種の保存法指定種・レッドデータブック掲載種などの希少な生物をいいます。

■平成17年度調査では、梯川で初めてシロマダラとカヤネズミといった特定種が確認されました。

主に山手に生息 **シロマダラ**

白い体に黒い帯の模様があることから、シロマダラと呼ばれています。
このヘビは、他の爬虫類を餌としており、梯川には餌が豊富なことから生息できるのです。

調べてみよう？
河原の石の下やスキの中で見つかるよ

河川敷のカヤ原に生息 **カヤネズミ**

カヤ(ススキやオギ)の葉っぱを利用して巣を作ることからカヤネズミと呼ばれています。
梯川には、ススキが多く繁茂していることから生息できるのです。また、ススキを維持するためには、草刈りなどの管理が必要です。

外来種

もともとその地域にいなかったのに、人間活動によって他地域から入ってきた生物のことを外来生物といいます。外来生物の中には農作物や家畜、ペットのように私たちの生活に欠かせない生物もたくさんいますが、一方で定着(帰化)している、いないに関わらず地域の自然環境に大きな影響を与えるものがあります。

■平成17年度調査では、ミシシippアカミミガメ、ウシガエル、ヤモリ、ハツカネズミ、ドブネズミといった5種の外来種が確認されました。

■その内、生態系に悪影響を及ぼす恐れのある種はウシガエル、ミシシippアカミミガメであると思われます。この2種は、平成7年度調査ではほとんど確認されませんでしたが、平成12年度及び平成17年度調査では、継続的に確認され分布域が広がっており、現在では定着していると考えられます。

特にミシシippアカミミガメは、ペットショップなどでミドリガメとして売られており、成長すると20cm以上になり始末に困り捨てる人がいます。



ミドリガメ



リリース(放流)禁止

お問い合わせ先

国土交通省金沢河川国道事務所調査第一課 TEL076-264-8800

小松出張所 TEL0761-23-4000

ホームページ <http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/>

広報「かけはしがわ」は、ホームページでもご覧になれます。



国土交通省 北陸地方整備局

金沢 河川 国道 事務所

本誌は古紙100%の再生紙を使用しています



R100

環境にやさしい植物性大豆インキを使用しています

